

「軌道分野技術交流会」を開催しました

2022年5月25日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、鉄道関係の皆さまに軌道技術分野に関する実用的な開発成果をご紹介することなどを目的として5月20日に「軌道分野技術交流会」を以下のとおり開催いたしました。交流会には鉄道事業者を中心に47社107名の方にご来場いただきました。

1. 開催日時：2022年5月20日（金）10時から16時30分
2. 場 所：公益財団法人鉄道総合技術研究所 国立研究所（東京都国分寺市）
3. 内 容：

鉄道総研ではデジタル技術を活用した鉄道システムの革新に資する研究開発を進め、設備メンテナンスの省力化・低コスト化に資する研究開発に取り組んでいます。今回の交流会では、軌道分野において、低コストな軌道検測技術、画像処理を活用した検査システムなどのデジタル技術の活用例や、劣化したバラスト軌道の低コストな補修法など、22件の成果展示（表1）を行いました。



(a) 低コスト軌道検測装置「TRACK²er」



(b) 劣化したバラストの沈下を抑制する低強度安定処理工法
(写真) パネルなどを用いて開発成果のプレゼンテーションを実施している様子

表 1 成果展示件名

No.	件名
1	列車巡視支援のための線路周辺画像解析システム
2	木まくらぎ劣化度判定システム
3	軌道保守管理データベースシステム「LABOCS」と保線管理システム「LABOCS-MATE」
4	軌道版電子野帳（巡視支援および分岐器軌道変位検査アプリ）
5	軌道保守計画策定支援ツール
6	レール損傷箇所の軌道部材の耐久性および走行安全性の評価法
7	保守効率化を目的とした低温時のロングレール保守作業制限の評価法
8	道床沈下・流動解析モデル「DEMCS-track」
9	軌道面の流れを再現した物体飛散が可能な風洞実験
10	低コスト軌道検測装置「TRACK ² er」
11	透過音によるバラストの劣化状態検査手法
12	軌道スラブ下の隙間を検査する連続打音試験装置
13	軌道支持剛性測定装置（RFWD）
14	レール頭部きず補修工法用熱間矯正機
15	劣化したバラストの沈下を抑制する低強度安定処理工法
16	既存のバラストを活用する SFC てん充道床軌道
17	低コストで施工性に優れた S 型弾性まくらぎ直結軌道
18	ラダー軌道
19	本設利用工事桁用レール締結装置の開発
20	直結系軌道用レール締結装置の機能向上
21	まくらぎ間隔拡大に対応したバラスト軌道の設計法
22	まくらぎ直結軌道用伸縮継目の弾性支持構造

（報道機関問い合わせ先）公益財団法人鉄道総合技術研究所 広報 TEL : 042-573-7219